

第1回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和2年6月24日(水) 午後2時より午後3時40分まで

協議内容

- ・新型コロナウイルスの影響により4月5月の企画運営会議は中止。今月から再開しているが今後場所の変更をする可能性がある。
- ・事務局より企画運営会議にかかる資料や東大阪市高齢者地域ケア会議に関する説明がある。
- ・東大阪市在宅高齢者介護者リフレッシュ事業については去年と同様の形で行うことは難しいのではないかと。全く内容を変えるか、同じ内容にしても3密対策をどう行うかを考える必要がある。
- ・東大阪市認知症本人活動支援推進ワーキンググループ会議報告があり、認知症本人交流会と若年性認知症ハンドブックについて話し合っている。
- ・今後の認知症啓発コラム「おれんじ通信」のテーマについて、次回ご提案頂きたい。(テーマ一覧参照)

各機関の報告

1 各選出機関の活動状況について

- ・基幹型地域包括支援センター 新型コロナウイルスの影響により会議関連は4月5月は中止で、6月より再開している。
- ・地域包括支援センター 介護予防教室などは6月から徐々に再開している。
- ・訪問看護事業者部会 4月5月は管理者の会議がなかったが、SNSを使った情報のやり取りをしていた。新型コロナウイルス対策の消毒液やマスクの確保に各事業所苦労している。
- ・通所介護・通所リハビリテーション事業者部会 7/13 処遇改善加算に関する研修を訪問介護部会と共催で開催する予定。
各事業所は感染防止方法に苦慮している。休む利用者も多く経営的にダメージを受けているところもある。
- ・介護支援専門員連絡会 4月5月全てのデイサービス利用を中止する人が多かった。モニタリングに関しても拒否する人がみられた。
- ・布施医師会 6/13 緩和ケアWeb研修会 ZOOMを利用して開催。医師15名を含む61名参加。
R2/8～ 東大阪市一般介護予防事業 脳の健康教室 18名定員でハリ永和にて開催するために準備中。
認知症初期集中支援チーム 118件エントリー(21地域包括支援センター)/76件終了
チーム員会議月2回開催 7月～布施・河内・枚岡3チームで活動開始。
- ・河内医師会 新型コロナの影響により受診数は減っている。電話やオンライン診療を行っているところもあるがごく一部。在宅診療の件数は減っていない。
- ・枚岡医師会 今後の事業日程は未定。3医師会でドライブスルー型PCR検査を実施していたが、6/19にいったん終了。
ZOOMを使った会議を行っている。
- ・市立東大阪医療センター 7/30 東大阪緩和ケア地域連携カンファレンス
ZOOMを使った退院支援カンファレンスを行う体制を整えている。
大阪府の要請を受け新型コロナウイルス感染症患者(擬陽性含む)の対応を行ってきた。以前、風評被害があった。現在体制は戻っても、患者はまだ十分には戻ってきていない。
- ・社会福祉協議会 新型コロナウイルスに対応した生活福祉資金の相談件数は7000件を超えている。
老人センター事業は3密を避ける形でできる事業から順次再開している。
高齢者振り込め詐欺等防止機器は今年度も200台準備していたが、4月に150台の申込があり、現在の残台数は40台。

- ・保健所 6月より検診や検査などは再開している。介護予防関連では屋外開催は8月末まで中止。室内開催も10人以内で行い、あまり激しい内容では行わないようにしている。
今年にはマスク着用による熱中症が心配される。
今年度も健康マイレージ事業を行う予定。
- ・福祉事務所 老人クラブの助成金申請は3密を避けるために郵送対応を基本とした。
新型コロナウイルスの影響による高齢者虐待の発生が増えている印象がある。
- ・地域包括ケア推進課 ZOOM等Web会議ツールを活用した各種教室開催に向けた環境整備を行った。
一般介護予防事業や短期集中予防サービス事業などの委託事業は8月末や秋ごろからの開催をめざしている。
認知症初期集中支援チームの拡充について、地域包括支援センターへはお知らせ済み。7/1 市政だより内のおれんじ通信にて、認知症初期集中支援チームについて掲載。
認知症本人交流会については第3回目を7月に開催予定。マスク着用し、時間を短くして行う予定。
認知症カフェの運営状況を調査中であるが、ほとんど開催できていない。